

入院患者サポートセンターと病棟との継続的な看護の試みに関する研究

1. 研究の対象

2020年3月1日～2020年4月30日に腰椎固定手術予定で入院患者サポートセンターを利用された方

2. 研究目的・方法

目的:入院後に病棟で行われる指導内容の一部を外来でも行うことによって患者の理解度の変化を検討するため。

方法:病棟と同じ視覚教材を入院患者サポートセンターでも導入し、患者指導を行い、入院後の患者の理解度をインタビュー調査にて検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢，性別，診断名
- 2) インタビュー内容

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 入院患者サポートセンター 高井佳乃子

-----以上